

行動する近畿ブロック知事会宣言（大覚寺宣言）

経済・雇用情勢の悪化、過疎化の進行、地域活力の低下、格差の拡大、少子・高齢化の中での社会保障への不安など国民生活を巡る様々な不安の高まりの中で、日本は、今、閉塞感に包まれている。

そうした中で、地方行政を巡る情勢は大きく変化した。政府・与党は、国と地方の協議の法制化、義務づけ・枠付けの廃止、国の出先機関の原則廃止、地方の自主財源の充実など地域主権の具体化に向け、動き始めている。一方で、補正予算の見直しに加え、当初予算の編成課程の中で検討が進むマニフェストの具体化をはじめとする諸施策は、地方に大きな影響を与えるものが多く、地域実情を十分踏まえたものでなければ、国民生活に混乱が生じ、逆に地域の活力を低下させることも懸念される。

こうした中で、我々は傍観者となることは許されない。地域の創意工夫が活かされ、地域が自己決定できる地域主権国家の確立を推進する主体は、まさに我々自身でなければならない。そして、東京一極集中を是正し、バランスのとれた国土構造を形成していくため、関西こそが先導的役割を果たすとの気概を持って戦略的に行動していくことが求められている。

我々は、「地域主権の時代」を「関西の時代」にするため、より連携を強め、実効ある成果を上げるべく、国民・生活者の視点起点に立ち、発想を転換し府県の担う役割自体も含めて見直し、改革を進めていくことが不可欠であることを確認した。

近畿ブロック知事会は、関西から閉塞感を打破し、地域から日本を元気にしていくために、本日の議論を踏まえ、行動していくものである。

平成21年11月4日

近畿ブロック知事会

福井県知事	西川一誠
三重県知事	野呂昭彦
滋賀県知事	嘉田由紀子
京都府知事	山田啓二
大阪府知事	橋下徹
兵庫県知事	井戸敏三
奈良県知事	荒井正吾
和歌山県知事	仁坂吉伸
徳島県知事	飯泉嘉門
鳥取県知事	平井伸治